

令和3年度 第1回 亀岡市総合農政計画審議会

「第3次亀岡市元気農業プラン」の見直しについて

《取組状況(検証)》

亀 岡 市

『第3次亀岡市元気農業プラン』の見直しについて

1 策定の目的

本市では、平成18年に農業施策の指針となる「亀岡市元気農業プラン」を策定し、各分野の『担い手』（人・組織）づくりに取り組んできました。平成23年度に内容を見直し「第2次亀岡市元気農業プラン」を策定。農業の生産・消費両面からの5つの理念のもと、総合的かつ計画的に農業施策を進めてきました。

第2次プラン策定から5年が経過した現在、農業を取り巻く情勢は、高齢化や人口減少、グローバル化などが進展し、そのスピードも加速してきており、本市においても、この変化に迅速に対応していく必要があります。府内有数の農地を誇るとともに、大都市近郊に位置した本市の恵まれた優位性を最大限に活かし、「選ばれるまち」・「住み続けたいまち」・新たな亀岡市の実現を目指してチャレンジしていかなければなりません。

このような状況から、「第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～」を上位計画とし、今後の亀岡農業の目指すべき姿を掲げた「第3次亀岡市元気農業プラン」を策定しました。

2 見直しの主旨

本プランは本市が取り組む農業施策の指針となる計画であり、平成18年に「亀岡市元気農業プラン」を策定、平成24年に「第2次プラン」を策定、平成29年度に「第3次プラン」を策定しました。今年度に計画期間の5年を終了することから、令和3年度中の見直しを目指します。

自然条件や立地条件に恵まれた本市の優位性を最大限に活かし、ふるさと亀岡の魅力を磨き上げ、農業分野でも人と時代に選ばれるリーディングシティを目指して、これまでの進捗状況や効果を検証し、総合的な見直しが必要です。

3 見直しに向けての日程

令和3年11月30日	第1回 亀岡市総合農政計画審議会 (諮問・素案審議)
令和4年 1月中旬	第2回 亀岡市総合農政計画審議会 (答申案審議)
下旬	答申
2月中旬	パブリックコメント
3月下旬	プラン策定

4 「第3次亀岡市元気農業プラン」の取組状況(検証)

■5つの基本理念

1. 営農組織と人材の育成
2. 農業基盤の整備
3. 多様な農業の振興
4. 流通システムの充実
5. 有害鳥獣対策の実施

1. 営農組織と人材の育成

■振興目標

- 農業の担い手育成とともに、地域の実態に応じた営農システムの確立や担い手への農地集積を行います
- 地域の実情に応じた担い手の確保、育成を推進します
- 認定農業者及び集落営農組織の経営強化を推進します
- 京力農場プランの策定を支援し、集落営農の強化を推進します
- 農地中間管理事業を活用した農地の利用集積・集約を推進します
- 亀岡産農作物の加工など新たな活用方法を検討し、農業経営の強化を図ります

■取り組み状況

①【農業経営の支援】

地域の中核的な担い手となる認定農業者の育成に努め、49名の新規認定につながった。また、農業従事者の高齢化及び減少がすすむ中、集落営農の法人化への支援を行い、9法人の設立に至った。新規就農者に対しては国・府の事業を積極的に活用し資金面でも支援を行ったほか、担い手専任マネージャーによる個別指導なども積極的に行い、5年間で30人を受け入れた。さらに新規就農の課題である資金面のハードルを下げするため、農機シェアリングサービスの試行実施を行うなどの取り組みを実施した。

②【継続性のある生産体制の構築】

地域リーダーを育成するため、認定農業者の育成を実施したほか、地域の営農実態に即した組織化を進めるため、京力農場プランの作成支援を行い、40プランが作成された。また、省力化に向け、スマート農業機械の導入を支援し、7件の補助を行った。

2. 農業基盤の整備

■振興目標

- 市内の未整備田を解消するため、国営緊急農地再編整備事業等による農業基盤整備事業を推進します
- 地域特性を最大限に活かした多様な水田利用を推進します
- 農地中間管理事業を活用した農地の利用集積・集約を推進します
- 遊休農地の解消や適切な利用促進を図ります

■取り組み状況

①【ほ場整備事業の推進】

国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」に取り組み、本梅工区（東加舎、西加舎）、佐伯工区、曾我部工区の面整備を実施した。

②【農地の基盤整備と農地集約化の推進】

農地中間管理機構を活用することで、3148.2aの面的集積を図った。また、集落営農等に関する農機具の導入支援を行い、33件の導入を実施した。

③【農業用施設の維持管理】

近年の自然災害の巨大化、頻発を受け、ため池や揚水機等の改修を実施した。

④【国営緊急農地再編整備事業の促進】

前掲

⑤【遊休農地の解消】

農業委員会が実施する農地パトロール等により耕作放棄地の解消に努め、9.8haの解消につながった。

3. 多様な農業の振興

■振興目標

- 国土保全の観点による農地の保全や環境への負荷を軽減した循環型農業の推進とともに、農業・農村や食への理解を深める多様な取り組みを進めます
- 農業生産活動に伴う環境負荷の低減（農薬、化学肥料の使用低減）を図ります
- 環境保全型農業の推進と農業生産力の安定化の両立を図ります
- 農業・農村が有する多面的機能の維持、向上を推進します
- 地域特性に応じた農産物の生産計画の策定と効率的な生産体制確立を図ります
- 需要に応じた農産物の生産計画の策定と効率的な生産体制確立を図ります
- 都市農村交流を推進します（学びや癒し等の機能の活用）
- 地域資源を活用した農業・農村の振興を図ります

■取り組み状況

①【人と環境にやさしい循環型農業の推進】

資源を循環させることによる環境負荷低減を進めるため、畜産堆肥の購入支援を行い、約 30 組織、13,000 a の施肥につながった。エコファーマー認定の新規取得者、更新者は減少傾向が続いている。有機農業の推進に向け、有機 JAS 認証取得への補助制度を新設したほか、市立保育所 3 園の給食への有機野菜導入を実施した。

②【集落機能の維持向上】

非農家とも協力して農地・環境を守るため、多面的機能支払交付金を活用して、社会共通資本としての農地・水の質的向上と共同活動を通じた地域コミュニティの活性化を図った。また、より条件の厳しい中山間地域についても、中山間地域等直接支払制度を活用し、農地及び農村環境の維持への支援を行った。

③【土地利用型作物の需給調整システムの構築】

亀岡地域農業再生協議会による水田活用ビジョンの策定、変更を行ったほか、良食味米の栽培技術普及のサポートを行い、平成 29 年、30 年はキヌヒカリの特 A 獲得につながった。また、小豆の生産振興などにより、農地の有効活用に努めた。

④【他業種との連携・交流の推進】

観光分野との連携については、修学旅行や体験旅行などの教育旅行の受け入れをサポートし、受け入れにつながったが、新型コロナウイルスの影響で計画期間後半は厳しい状況が続いた。「霧の芸術祭」との連携により、これまで連携

が十分ではなかった芸術分野とのコラボが実現し、農産物の魅力の新しい見せ方を提示することができた。また、総合地球学研究所や大学との連携により、学生等が地域に入ることによる地域の活性化につながった。

4. 流通システムの充実

■振興目標

- 食と農の理解促進活動を推進します
- 地産地消を通じた消費拡大と生産者と消費者のふれあいの創出を図ります
- 食農学習と健康づくりを推進します
- 亀岡ブランドの推進と魅力づくりに努めます
- 林産物（丹波松茸、丹波くり等）の生産を推進します

■取り組み状況

①【食と農を通じた地産地消の促進】

「アグリフェスタ」や「肉フェスタ」の開催は、市内外の方に亀岡の食と農を発信する重要な機会となっている。

小学校や保育所の給食への地元産食材の利用を実施することで、地産地消の推進と食への関心の高まりに貢献している。また、市内の小中学校での農業体験を通じて、子どもたちへの食農教育を進めた。

「おばちゃんの亀岡ふるさと料理塾」を通じて、伝統行事とそれにまつわる食の継承を図った。

②【販売戦略の確立】

安全・安心な農産物の生産振興のため、環境保全型直接支払交付金などの活用を進めたほか、直売所の運営支援に努めた。

また、全国に亀岡の農産物を発信し、消費を拡大するためふるさと納税制度の拡充を行い、令和2年度には農産物関連寄付金が約6万件、18億円強となるなどブランド化に大きな貢献があった。

③【特産品の振興】

京都丹波及び亀岡ブランドの生産振興のため、産地交付金の活用のほか、丹波くりの振興助成、畜産への支援を行った。

④【「亀岡牛」のブランド化】

令和3年度に、亀岡市食肉センターに HACCP を導入し、より安全・安心な亀岡牛の生産体制を整備したほか、ふるさと納税の活用や肉フェスタ、亀岡牛ハンバーグ・カレーコンテストの開催などで、亀岡牛ブランドの普及を行った。

⑤【農産物の発信、販売拠点の整備】

直売所マップの作成、市内イベントへの出店サポートなどによる直売所への支援を実施した。

5. 有害鳥獣対策の実施

■振興目標

- 有害鳥獣による農作物及び生活環境への被害が増加傾向にあるため、被害防止対策の充実・強化を図ります
- 府が策定している第11次鳥獣保護事業計画及び特定鳥獣保護管理計画の推進を図ります
- 捕獲された有害鳥獣の処理方法について検討します

■取り組み状況

①【有害鳥獣駆除】

亀岡猟友会と連携し、有害鳥獣の捕獲を行っている。その結果、毎年度 500 頭以上の捕獲につながった。また、狩猟者の高齢化・減少を受け、狩猟免許取得や講習会受講への補助を行うことで、狩猟者確保への支援を行った。

②【防除施設の整備】

鳥獣被害防止総合交付金を活用して防除施設整備への支援を行い、5年間で計 15 件の整備につながった。

第3次亀岡市元気農業プラン 取組実績（平成29年度～令和3年度）

■ 1. 営農組織と人材の育成

振興策	具体的な施策	平成29年度	平成30年度	平成31・令和元年度	令和2年度	令和3年度（9月末現在）
① 農業経営の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の中核的な担い手となる認定農業者の育成 ○集落営農の組織化に向けた取り組みへの支援 ○新規就農者の確保・育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○認定農業者数 146名（新規12名） ○認定後3年経過者へのアンケート実施、訪問面談 面談者数 8人 ○農業機械安全研修会開催 1回 参加者45人 ○集落営農法人設立数 7法人（新規1法人） ○地域座談会開催 参加者32人 ○新規就農者数 13人 ○若手農家と専業農家の交流会開催 1回 参加者48人 ○農業次世代人材投資事業 利用者26人 ○担い手養成実践農場 利用者7人 	<ul style="list-style-type: none"> ○認定農業者数 158名（新規13名） ○認定後3年経過者へのアンケート実施、訪問面談 面談者数 4人 ○農業機械安全研修会及び栽培研修会開催 1回 参加者30人 ○集落営農法人設立数 7法人（新規0法人） ○地域座談会開催 参加者32名 ○新規就農者数 5人 ○若手農家と専業農家の交流会開催 1回 参加者39人 ○農業次世代人材投資事業 利用者29人 ○担い手養成実践農場 利用者5人 	<ul style="list-style-type: none"> ○認定農業者数 160名（新規10名） ○認定後3年経過者へのアンケート実施、訪問面談 面談者数 0人 ○農業機械安全研修会及び視察研修会開催 3回 参加者91人 ○集落営農法人設立数 8法人（新規1法人） ○地域座談会開催 参加者13名 ○新規就農者数 6人 ○若手農業者情報交換会開催 1回 参加者39人 ○農業次世代人材投資事業 利用者32人 ○担い手養成実践農場 利用者4人 	<ul style="list-style-type: none"> ○認定農業者数 134名（新規9名） ○農業機械安全に関する文書送付 送付先 125組織 ○集落営農法人設立数 9法人（新規1法人） ○地域座談会開催 参加者13名 ○新規就農者数 4人 ○農業次世代人材投資事業 利用者32人 ○担い手養成実践農場 利用者2人 	<ul style="list-style-type: none"> ○認定農業者数 132名（新規5名） ○農業機械安全研修会開催 0回 参加者0人 ○集落営農法人設立数 9法人（新規0法人） ○新規就農者数 2人 ○若手農業者情報交換会開催 0回 参加者0人 ○農業次世代人材投資事業 利用者27人 ○担い手養成実践農場 利用者1人 ○農機シェアリングサービス 登録者 6人
② 継続性のある生産体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ○地域リーダー育成支援 ○地域の営農実態に応じた組織化の推進 ○省力化、低コスト化に向けたスマート農業の調査、研究 	<ul style="list-style-type: none"> ○認定農業者数（前掲） ○京力農場プラン検討会開催 2回 ○京力農場プラン作成 34プラン（新規5プラン） 	<ul style="list-style-type: none"> ○認定農業者数（前掲） ○京力農場プラン検討会開催 3回 ○京力農場プラン作成 37プラン（新規3プラン） 	<ul style="list-style-type: none"> ○認定農業者数（前掲） ○京力農場プラン検討会開催 1回 ○京力農場プラン作成 39プラン（新規2プラン） ○スマート農業機械導入補助 5件 	<ul style="list-style-type: none"> ○認定農業者数（前掲） ○京力農場プラン検討会開催 2回 ○京力農場プラン作成 40プラン（新規1プラン） ○スマート農業機械導入補助 0件 	<ul style="list-style-type: none"> ○認定農業者数（前掲） ○京力農場プラン検討会開催 1回 ○スマート農業機械導入補助 2件

第3次亀岡市元気農業プラン 取組実績（平成29年度～令和3年度）

■ 2. 農業基盤の整備

振興策	具体的な施策	平成29年度	平成30年度	平成31・令和元年度	令和2年度	令和3年度（9月末現在）
① ほ場整備事業の推進	○ほ場整備事業による農地基盤の整備促進	○国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」 ・実施設計、換地作業、地区境界立会い ・面整備（本梅工区（東加舎区 A=4.95ha）、佐伯工区 A=17.7ha）	○国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」 ・実施設計、換地作業、地区境界立会い ・面整備（本梅工区（東加舎区 A=1.3ha）、佐伯工区 A=6.23ha、曾我部工区 A=39.48ha）	○国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」 ・換地作業 ・面整備（曾我部工区 A=34.67ha）	○国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」 ・換地作業 ・面整備（曾我部工区 A=30.89ha、本梅工区（西加舎） A=6.30ha）	○国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」 ・換地作業 佐伯工区 換地計画決定（権利者会議開催） ・面整備（曾我部工区 A=16.3ha、本梅工区（西加舎） A=3.0ha）
② 農地の基盤整備と農地集約化の推進	○担い手農家への農地利用集積の拡大	○農地中間管理機構の活用による担い手への面的集約 1,358a ○機構集積協力金交付 18件 ○集落営農等農機具導入支援 3件	○農地中間管理機構の活用による担い手への面的集約 532a ○機構集積協力金交付 5件 ○集落営農等農機具導入支援 4件	○農地中間管理機構の活用による担い手への面的集約 427.2a ○機構集積協力金交付 2件 ○集落営農等農機具導入支援 8件	○農地中間管理機構の活用による担い手への面的集約 831a ○機構集積協力金交付 2件 ○集落営農等農機具導入支援 9件	○機構集積協力金交付 0件 ○集落営農等農機具導入支援 9件
③ 農業用施設の維持管理	○農業用施設の維持管理を支援、老朽化施設の整備改修の促進	○ため池改修事業 昭和池ほか ○揚水機等改修事業 五反田揚水機	○ため池改修事業 昭和池ほか		○ため池改修事業 北奥池	
④ 国営緊急農地再編整備事業の促進	○効率的な土地利用と生産性の高い農業基盤の整備	○国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」（前掲）	○国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」（前掲）	○国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」（前掲）	○国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」（前掲）	○国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」（前掲）
⑤ 遊休農地の解消	○遊休農地の解消や適切な利用促進	○耕作放棄地解消面積 5.8ha ○農地パトロール実施	○耕作放棄地解消面積 1.1ha ○農地パトロール実施	○耕作放棄地解消面積 0.4ha ○農地パトロール実施	○耕作放棄地解消面積 2.5ha ○農地パトロール実施	○農地パトロール実施

第3次亀岡市元気農業プラン 取組実績（平成29年度～令和3年度）

■ 3. 多様な農業の振興

振興策	具体的な施策	平成29年度	平成30年度	平成31・令和元年度	令和2年度	令和3年度（9月末現在）
① 人と環境にやさしい循環型農業の推進	○耕種農家と畜産農家との連携による自然循環型農業の支援 ○環境にやさしい循環型農業の支援	○畜産堆肥使用組織支援 34組織、13679.6a ○畜産堆肥販売支援 12,167袋 ○エコファーマー認定者数 78人 ○エコファーマー支援 4組織	○畜産堆肥使用組織支援 32組織、13915.7a ○畜産堆肥販売支援 11,941袋 ○エコファーマー認定者数 78人	○畜産堆肥使用組織支援 33組織、12724.9a ○畜産堆肥販売支援 10,583袋 ○エコファーマー認定者数 81人	○畜産堆肥使用組織支援 31組織、13220.7a ○畜産堆肥販売支援 11,018袋 ○エコファーマー認定者数 86人	○エコファーマー認定者数 67人 ○有機JAS認証者数 6人（法人含む、市把握分）
② 集落機能の維持向上	○集落環境の維持・向上に向けた取り組みの支援 ○農産物の加工・販売、観光等と連携した事業展開等を支援 ○共同管理の実施を支援	○多面的機能支払推進事業による支援 72組織、207,903a ○6次産業化研修会、視察研修の実施 参加者 54人（延べ） ○中山間地域等直接支払推進事業による支援 17集落協定、18,950a	○多面的機能支払推進事業による支援 74組織、212,075a ○6次産業化研修会、視察研修の実施 参加者 145人（延べ） ○中山間地域等直接支払推進事業による支援 17集落協定、18,950a	○多面的機能支払推進事業による支援 72組織、208,478a ○6次産業化研修会、視察研修の実施 参加者 24人（延べ） ○中山間地域等直接支払推進事業による支援 17集落協定、18,950a	○多面的機能支払推進事業による支援 72組織、208,598a ○6次産業化研修会、視察研修の実施 未実施 ○中山間地域等直接支払推進事業による支援 17集落協定、18,000a	○多面的機能支払推進事業による支援 73組織、227,575a ○6次産業化研修会、視察研修の実施 実施予定 ○中山間地域等直接支払推進事業による支援 21集落協定、20,162a
③ 土地利用型作物の需給調整システムの構築	○生産者、生産者団体が自主的に取り組む生産計画の策定を促進 ○地域条件を活かした農地の有効利用の促進	○亀岡地域農業再生協議会水田フル活用ビジョンの策定 変更 1回 ○良食味米の栽培技術普及 ○特産品小豆生産振興 7,038a ○産地交付金による支援 821件	○亀岡地域農業再生協議会水田フル活用ビジョンの策定 変更 1回 ○良食味米の栽培技術普及 ○特産品小豆生産振興 7,299a ○産地交付金による支援 648件	○亀岡地域農業再生協議会水田フル活用ビジョンの策定 変更 1回 ○良食味米の栽培技術普及 ○特産品小豆生産振興 7,740a ○産地交付金による支援 578件	○亀岡地域農業再生協議会水田フル活用ビジョンの策定 変更 1回 ○良食味米の栽培技術普及 ○特産品小豆生産振興 7,675a ○産地交付金による支援 547件	○亀岡地域農業再生協議会水田フル活用ビジョンの策定 変更 1回 ○良食味米の栽培技術普及 ○特産品小豆生産振興 8,555a ○産地交付金による支援

<p>④ 他業種との連携・交流の推進</p>	<p>○農業と商業、工業、観光産業などの連携による6次産業化の促進 ○大学等の教育・研究機関との連携強化 ○ユニバーサル農業（福祉農業）の推進</p>	<p>○教育体験旅行受入 東山中学校</p> <p>○カーボンマイナスプロジェクトでの連携 立命館、龍谷、京都学園</p> <p>○総合地球学研究所 FEAST プロジェクトとの連携 亀岡食生活調査</p>	<p>○教育体験旅行受入 東山中学校</p> <p>○カーボンマイナスプロジェクトでの連携 立命館、龍谷、京都学園</p> <p>○総合地球学研究所 FEAST プロジェクトとの連携 食と農の未来会議 in 亀岡開催</p>	<p>○教育体験旅行受入 東山中学校、明德高校</p> <p>○カーボンマイナスプロジェクトでの連携 立命館、龍谷、京都先端科学</p> <p>○総合地球学研究所 FEAST プロジェクトとの連携 地球研地域連携セミナー開催</p>	<p>○移動式屋台「やおやおや」による亀岡産農産物の新しい魅せ方提案 来場者 3,652人（延べ）</p> <p>○カーボンマイナスプロジェクトでの連携 立命館、龍谷、京都先端科学</p>	<p>○移動式屋台「やおやおや」による亀岡産農産物の新しい魅せ方提案 来場者 500人（延べ）</p> <p>○亀岡牛ハンバーグ・カレーコンテスト開催 16店舗、約2,000食</p> <p>○亀岡プロジェクトでの連携 龍谷</p>
------------------------	---	---	--	--	--	--

第3次亀岡市元気農業プラン 取組実績（平成29年度～令和3年度）

■ 4. 流通システムの充実

振興策	具体的な施策	平成29年度	平成30年度	平成31・令和元年度	令和2年度	令和3年度（9月末現在）
① 食と農を通じた地産地消の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○地域間交流を通じて食と農に関する理解と地産地消の推進 ○将来を担う子どもたちへの食と農の理解促進 ○地域の「食」と「食文化」の普及・継承 	<ul style="list-style-type: none"> ○アグリフェスタ開催 来場者 5,000人 ○肉フェスタ開催 来場者 3,000人 ○給食だよりでの情報発信 学校・保育所各4回 ○食農体験学習参加小中学校数 17校 ○おやこ料理塾開催 1回 ○おばちゃんの亀岡ふるさと料理塾開催 4回、参加者数104名 	<ul style="list-style-type: none"> ○アグリフェスタ開催 来場者 5,000人 ○肉フェスタ開催 来場者 3,000人 ○給食だよりでの情報発信 学校・保育所各4回 ○食農体験学習参加小中学校数 17校 ○おやこ料理塾開催 1回 ○おばちゃんの亀岡ふるさと料理塾開催 4回、参加者数61名 	<ul style="list-style-type: none"> ○アグリフェスタ開催 来場者 3,500人 ○給食だよりでの情報発信 学校・保育所各4回 ○食農体験学習参加小中学校数 18校 ○おばちゃんの亀岡ふるさと料理塾開催 3回、参加者数86名 	<ul style="list-style-type: none"> ○アグリフェスタ開催（スタンプラリー形式） 参加全9店舗訪問者 225人 ○給食だよりでの情報発信 学校・保育所各4回 ○食農体験学習参加小中学校数 18校 	<ul style="list-style-type: none"> ○肉フェスタ開催 来場者 2,000人 ○給食だよりでの情報発信 学校・保育所各4回 ○食農体験学習参加小中学校数 18校 ○おやこ料理塾開催 開催予定なし ○おばちゃんの亀岡ふるさと料理塾開催 1回開催予定
② 販売戦略の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○安全・安心な農産物の生産振興や品質向上によるブランドの確立 ○消費者ニーズに対応できる生産・流通システム確立の支援 ○ふるさと納税返礼品として地元産品の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境保全型農業直接支払交付金による支援 4組織 1,393a ○亀岡クルベジ育成会によるクルベジ販売 1,630万円 ○亀岡市直売連絡協議会加盟直売所数 21施設 ○農産物直売所運営支援補助 10件 ○ふるさと納税農産物等に係る寄付件数、金額 6,129件、176,314,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境保全型農業直接支払交付金による支援 4組織 1,567a ○亀岡クルベジ育成会によるクルベジ販売 1,458万円 ○亀岡市直売連絡協議会加盟直売所数 21施設 ○農産物直売所運営支援補助 7件 ○ふるさと納税農産物等に係る寄付件数、金額 12,068件、404,519,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境保全型農業直接支払交付金による支援 4組織 1,487a ○亀岡市直売連絡協議会加盟直売所数 21施設 ○ふるさと納税農産物等に係る寄付件数、金額 21,353件、676,252,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境保全型農業直接支払交付金による支援 3組織 617a ○亀岡市直売連絡協議会加盟直売所数 19施設 ○ふるさと納税農産物等に係る寄付件数、金額 59,541件、1,818,355,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境保全型農業直接支払交付金による支援 4組織 1,079a ○有機JAS認証者数（前掲） ○亀岡市直売連絡協議会加盟直売所数 20施設 ○「食の京都 TABLE」整備支援事業による支援 1施設 ○ふるさと納税農産物等に係る寄付件数、金額 24,357件、676,900,000円

<p>③ 特産品の振興</p>	<p>○京都丹波ブランドの特産品の生産振興と販売拡大を図るための生産者支援</p>	<p>○京のブランド産品認証産品数 9品目 ○産地交付金による支援（前掲） ○JA 京都丹波くり部会への振興助成 ○ふるさと納税農産物・肉類に係る寄付件数、金額 4,312件 147,021,000円</p>	<p>○京のブランド産品認証産品数 9品目 ○産地交付金による支援（前掲） ○JA 京都丹波くり部会への振興助成 ○ふるさと納税農産物・肉類に係る寄付件数、金額 7,530件 294,300,000円</p>	<p>○京のブランド産品認証産品数 9品目 ○産地交付金による支援（前掲） ○JA 京都丹波くり部会への振興助成 ○ふるさと納税農産物・肉類に係る寄付件数、金額 12,901件 428,254,000円</p>	<p>○京のブランド産品認証産品数 9品目 ○産地交付金による支援（前掲） ○JA 京都丹波くり部会への振興助成 ○ふるさと納税農産物・肉類に係る寄付件数、金額 37,896件 1,100,491,000円</p>	<p>○京のブランド産品認証産品数 9品目 ○産地交付金による支援（前掲） ○JA 京都丹波くり部会への振興助成 ○ふるさと納税農産物・肉類に係る寄付件数、金額 15,896件 397,825,000円</p>
<p>④ 「亀岡牛」のブランド化</p>	<p>○食肉センターを中心とした安定供給・流通体制の強化 ○「亀岡牛」のブランド化の支援</p>	<p>○畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金交付 1件 ○と畜頭数 574頭 ○ふるさと納税亀岡牛に係る寄付件数、金額 1,216件 74,297,000円 ○肉フェスタ開催（前掲）</p>	<p>○と畜頭数 600頭 ○亀岡牛安定供給体制整備事業助成金交付 1件 ○ふるさと納税亀岡牛に係る寄付件数、金額 1,490件 46,352,000円 ○肉フェスタ開催（前掲）</p>	<p>○と畜頭数 730頭 ○亀岡牛安定供給体制整備事業助成金交付 1件 ○ふるさと納税亀岡牛に係る寄付件数、金額 2,755件 71,034,000円</p>	<p>○畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金交付 1件 ○と畜頭数 694頭 ○亀岡牛安定供給体制整備事業助成金交付 1件 ○ふるさと納税亀岡牛に係る寄付件数、金額 3,778件 98,733,000円</p>	<p>○と畜頭数 334頭 ○亀岡牛安定供給体制整備事業助成金交付 1件 ○ふるさと納税亀岡牛に係る寄付件数、金額 1,259件 26,803,000円 ○肉フェスタ開催（前掲） ○亀岡牛ハンバーグ・カレーコンテスト開催（前掲） ○HACCPによる運用開始</p>
<p>⑤ 農産物の発信、販売拠点の開設支援</p>	<p>○地元農産物の情報発信、販売拠点の開設支援</p>	<p>○亀岡市直売連絡協議会加盟 直売所数（前掲） ○直売所マップ配布</p>	<p>○亀岡市直売連絡協議会加盟 直売所数（前掲） ○直売所マップ配布</p>	<p>○亀岡市直売連絡協議会加盟 直売所数（前掲） ○直売所マップ配布</p>	<p>○亀岡市直売連絡協議会加盟 直売所数（前掲） ○直売所マップ配布</p>	<p>○亀岡市直売連絡協議会加盟 直売所数（前掲） ○直売所マップ配布</p>

第3次亀岡市元気農業プラン 取組実績（平成29年度～令和3年度）

■ 5. 有害鳥獣対策の実施

振興策	具体的な施策	平成29年度	平成30年度	平成31・令和元年度	令和2年度	令和3年度（9月末現在）
① 有害鳥獣駆除	○農林水産物や生活環境被害の発生予防の支援 ○狩猟者への支援 ○捕獲した有害鳥獣の活用を研究	○有害鳥獣防除柵の整備 整備延長 1,039m ○大型鳥獣捕獲頭数 649頭 ○広域捕獲実施 4回 ○計画捕獲実施 5回 ○突発捕獲実施 33回 ○捕獲檻貸出 77回 ○狩猟免許補助件数 3件 ○技能講習会補助 3件	○有害鳥獣防除柵の整備 整備延長 1,296m ○大型鳥獣捕獲頭数 580頭 ○広域捕獲実施 4回 ○計画捕獲実施 5回 ○突発捕獲実施 31回 ○捕獲檻貸出 82回 ○狩猟免許補助件数 3件 ○技能講習会補助 3件	○有害鳥獣防除柵の整備 整備延長 3,596m ○大型鳥獣捕獲頭数 556頭 ○広域捕獲実施 4回 ○計画捕獲実施 4回 ○突発捕獲実施 35回 ○捕獲檻貸出 94回 ○狩猟免許補助件数 9件 ○技能講習会補助 10件	○有害鳥獣防除柵の整備 整備延長 1,023m ○大型鳥獣捕獲頭数 569頭 ○広域捕獲実施 1回 ○計画捕獲実施 4回 ○突発捕獲実施 31回 ○捕獲檻貸出 79回 ○狩猟免許補助件数 2件 ○技能講習会補助 2件	○有害鳥獣防除柵の整備 整備延長 0m (令和4年1月整備完了予定) ○大型鳥獣捕獲頭数 333頭 (R3 からカラス追加) ○広域捕獲実施 1/25, 2/20 実施予定 ○計画捕獲実施 3回 ○突発捕獲実施 19回 ○捕獲檻貸出 108回 ○狩猟免許補助件数 0件 ○技能講習会補助 0件
② 防除施設の整備	○農家組合等関連団体が設置する防除施設等の整備の支援	○鳥獣被害防止総合交付金による支援 4件	○鳥獣被害防止総合交付金による支援 4件	○鳥獣被害防止総合交付金による支援 5件	○鳥獣被害防止総合交付金による支援 2件	○鳥獣被害防止総合交付金による支援 0件 R4.1月末完了予定